

2026年
1/8 (木)

アタッチメント理論 から学ぶ 子どもの支援

困った行動の

理解と向き合い方

時間

10:40～12:10

会場

関西大学 堺キャンパス
A棟5階 SA501教室



講師

遠藤 利彦 氏

東京大学大学院教育学研究科 教授
東京大学大学院教育学研究科付属
発達保育実践政策学センター長

講演内容

2024年度に開催された講演「子どもの困った行動はなぜ？～アタッチメント理論から考える～」では、子どもの行動の背景にある愛着の形成や、その重要性について多くの学びと反響がありました。今回はその続編として、「困った行動を示す子どもへの支援と関わりの実践」について、より理解を深めます。

講師の遠藤利彦先生には、アタッチメント理論を支援現場でどのように活かすか、また虐待や発達の課題を抱える子どもたちへの理解と関わり方のポイントについて、豊富な研究と実践の知見からお話しいただきます。子どもにとって「安全基地」となる大人のあり方、支援者自身の自己理解や感情との向き合い方にも焦点を当て、明日からの支援に生かせるヒントを学びます。前回参加された方はもちろん、初めての方にも理解を深めていただける講演です。

司会

姜 民護 氏

関西大学人間健康学部 准教授



お問い合わせ先

お電話・FAXでのお申し込みは受け付けておりません。
※問い合わせ対応可能時間：平日9：00～17：00

関西大学 堺キャンパス事務室
地域連携事業担当

「アタッチメント理論から学ぶ子どもの支援」係
laboratory@ml.kandai.jp

お申し込み方法

▼QRコードよりお申し込みください。



定員 100名

申込締切

12/22
9：00まで